

重点分野

子育て・健康・福祉

子育てに関するものとして、こども医療費の通院分を、令和6年4月から対象年齢を18歳まで拡大します。児童手当については、令和6年10月分から対象年齢を18歳まで拡大するとともに、多子世帯への支援を拡充し、所得制限を撤廃します。

また、妊娠・出産期から子育て期にわたるまで、切れ目のない支援を提供するため、従来の子ども家庭総合支援拠点と子育て世代包括支援センターを一本化し、更に機能を強化した、こども家庭センターを設置します。

そして、安心して出産できる環境づくりのため、低所得世帯の妊婦に対する初回産科受診料の補助を新たに設けるとともに、産後うつなどを予防するため、産後ケア事業にデイサービス型を追加して拡充を図ります。



ママパパ教室

また、令和6年4月、コティすぎと2階にリニューアルオープンした杉戸子育て支援センターでは、子育て世帯のニーズにきめ細かく対応できるよう、新たに一時預かり事業を実施します。

次に、健康・福祉に関するものとして、手話言語条例の制定に向けた準備を進めるとともに、埼葛北地区3市2町で共同設置する地域活動支援センターを1か所追加し、障がいのある方の活動を支援します。

また、県において、健康マイレージ事業に代わり、新たに歩数管理アプリや栄養・総合管理アプリを活用した健康増進事業を実施することから、当町もこの事

業に参加し、町民の健康増進に努めます。

また、引き続き敬老祝いの品の贈呈や、シニアサロンへの補助など、高齢者の皆様の生きがいづくりを支援します。

教育

学校教育に関するものとして、小・中学校における学力の向上を目指し、総合学力調査やリーディングスキルテストを実施するとともに、英語検定を受験する生徒に対する受験料の一部補助を継続して行います。

また、リソースルームの試験的導入箇所に、杉戸小学校、杉戸中学校の2校を追加することで、児童・生徒に寄り添った学習環境を整備します。

そして、中学校の教員がタブレット端末を使用して採点を行う、デジタル採点システムを新たに導入することで、教員の働き方改革につなげるとともに、各小・中学校に乗用草刈機を新規に購入し、児童・生徒が元気づけ運動できるように、



学校給食風景

校庭の環境整備を推進します。

また、教育に係る保護者の経済的負担を軽減するため、学校給食における賄材料費（物価高騰分）の公費負担を継続するとともに、第3子以降の給食費を無償化するための補助を行います。

更に、令和7年度の杉戸南中学校の開校に向けて、校歌・校旗を制作するなど、準備作業を着実に進めます。次に、社会教育に関するものとして、引き続き図書

道路・都市基盤

道路・都市基盤に関するものとして、通学路の安全確保のため、大字茨島地区の町道827号線の歩道を整備するなど、危険箇所について計画的な対策を実施します。

また、安全な道路環境を確保するため、大字杉戸地区の町道Ⅱ級1号線などの舗装補修のほか、大字堤根地区の町道Ⅱ級10号線及び大字並塚地区の町道Ⅰ級11号線の道路改良工事に向けた準備を進めます。

そして、未来への大きな投資である東武動物公園駅東口通り線、新橋通り線及び下野久喜線といった主要事業についても、引き続き着実に推進します。

環境

環境に関するものとして、町民生活に重大な影響を及ぼすごみ処理を安定的に行うため、令和6年度から令和11年度の6年間で、環境センター焼却施設の大規模

改修工事を実施します。

また、ゼロカーボンシティを目指し、役場庁舎、すぎとピア、カルスタすぎとなどの公共施設の照明をLED化するともに、引き続き次世代自動車や住宅用太陽光発電システム等、再生可能エネルギーの普及に向けた支援を行います。

更に、環境美化に係るアダプトプログラムを導入するほか、第2次杉戸町環境基本計画の周知リーフレットを作成し、町民の環境への意識を高めるとともに、「ごみの区分・出し方分別一覧表」を更新することで、ごみの減量化やリサイクルに対する意識啓発を行います。

防災・防犯

防災に関するものとして、避難所の環境を整備するため、全ての町立小・中学校の体育館（設置済の施設を除く。）に、空調機を設置するための準備を進めます。

また、自主防災組織において、女性の視点からの防災活動を推進するため、新

たに女性の防災士資格の取得を支援します。

次に、防犯・交通安全に関するものとして、不審者等の進入を防止し、子どもの安全を確保するため、全ての町立幼稚園及び小学校（設置済の施設を除く。）に防犯カメラを設置します。

また、交通事故や犯罪を防止するため、道路照明灯のLED化を推進するほか、スケアード・ストリート教育技法による交通安全教育の実施や、空き家問題への対応等を継続して行います。

その他の重点事項

行財政運営に関するものとして、第6次杉戸町総合振興計画の前期基本計画が令和7年度で満了となることから、後期基本計画の策定に向けた住民意識調査等の準備を進めます。

また、令和6年4月、コティすぎと1階に開所した杉戸町コミュニティセンターにおいて、各種事業を展開することで人々の交流を促進し、賑わいの創出に努めます。



西小学校地区防災訓練

次に、子どもたちに森林の様々な機能を実感しながら、その大切さを学んでもらうため、新たに「森林環境教育体験ツアー」を開催します。

更に、地元企業応援事業として、引き続き小規模事業者経営改善資金の利子補

産業

産業に関するものとして、アグリパークゆめすぎとの観光・交流拠点機能を強化するため、駐車場整備や直売所拡張に向けた準備を進めます。

また、子どもたちに森林の様々な機能を実感しながら、その大切さを学んでもらうため、新たに「森林環境教育体験ツアー」を開催します。

次に、DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進に関するものとして、マイナンバーを活用した証明書等の交付機能を有するマルチコピー機を第三庁舎1階に設置し、窓口における待機時間の短縮を図ります。

また、議会におけるペーパーレス化を実現するため、ペーパーレス会議システムを導入するとともに、新たに議員用のタブレット端末を配置します。